

NYマーケットレポート (2014年12月3日)

NY市場では、序盤に発表された米ADP雇用統計が、市場予想を下回る結果となったことを受けて、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。ただ、その後は、米長期金利が上昇傾向にあることから、日米の金利差拡大を見込んだ円売りが優勢となった。また、米ISM非製造業景況指数が市場予想を上回る結果となったことや、堅調な株価動向を背景に、ドル円・クロス円は小動きながら堅調な動きとなった。ドル/円は一時119.87まで上昇し、2007年8月以来、約7年4ヵ月ぶりの高値を付ける動きとなった。そして、ユーロは、ECBによる追加金融緩和の観測を背景に、主要通貨に対して軟調な展開が続いた。また、ロシア・ルーブルは、ロシア中銀がルーブルを下支えるために介入したとの観測が広がり、過去最安値から反発となった。

2014/12/3 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	119.24	119.44	119.14
EUR/JPY	147.54	147.91	147.45
GBP/JPY	186.46	186.84	186.38
AUD/JPY	100.24	100.91	99.98
EUR/USD	1.2375	1.2391	1.2362

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	119.48	119.22
EUR/JPY	147.57	147.05
GBP/JPY	187.24	186.29
AUD/JPY	100.71	100.14
EUR/USD	1.2376	1.2322

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	17720.43	+57.21
ハンセン指数	23428.62	-225.68
上海総合	2779.53	+15.98
韓国総合指数	1969.91	+4.08
豪ASX200	5321.82	+40.56
インドSENSEX指数	28442.71	-1.30
シンガポールST指数	3303.39	-18.93

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6716.63	-25.47
仏CAC40	4391.86	+3.56
独DAX	9971.79	+37.71
ST欧州600	349.34	+1.97
西IBEX35指数	10875.90	+126.70
伊FTSE MIB指数	19978.32	+197.74
南ア 全株指数	49857.18	+265.75

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	119.81	119.87	119.24
EUR/JPY	147.46	147.58	147.04
GBP/JPY	187.93	188.20	187.09
AUD/JPY	100.71	100.87	100.51
NZD/JPY	92.99	93.21	92.71
EUR/USD	1.2311	1.2345	1.2301
AUD/USD	0.8406	0.8448	0.8397

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17912.62	+33.07
S&P500	2074.33	+7.78
NASDAQ	4774.47	+18.66
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	14754.06	+133.99
🇯🇵 ボルサ指数	43112.29	+104.22
🇺🇸 ボベスパ指数	52320.48	+708.01

12/4 経済指標スケジュール

09:30	【豪】10月小売売上高
09:30	【豪】10月貿易収支
15:30	【仏】3Q ILO失業率統計
21:00	【英】政策金利発表
21:30	【米】12月RBC消費者予測指数
21:30	【米】11月チャレンジャー人員削減数
21:45	【欧】政策金利発表
22:30	【米】新規失業保険申請件数
22:30	【米】失業保険継続受給者数
00:00	【カナダ】11月Ivey購買部協会指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1280.70	+9.30
NY 原油	67.38	+0.50
CME コーン	382.00	+0.75
CBOT 大豆	998.25	+2.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.56%	0.54%
3年債	0.97%	0.94%
5年債	1.61%	1.59%
7年債	2.01%	2.01%
10年債	2.28%	2.29%
30年債	2.99%	3.01%

12/4 主要会議・講演・その他予定

- ・ECB総裁 定例会見
- ・クリーブランド連銀総裁 講演
- ・ブレイナードFRB理事 講演

(出所:SBILM)

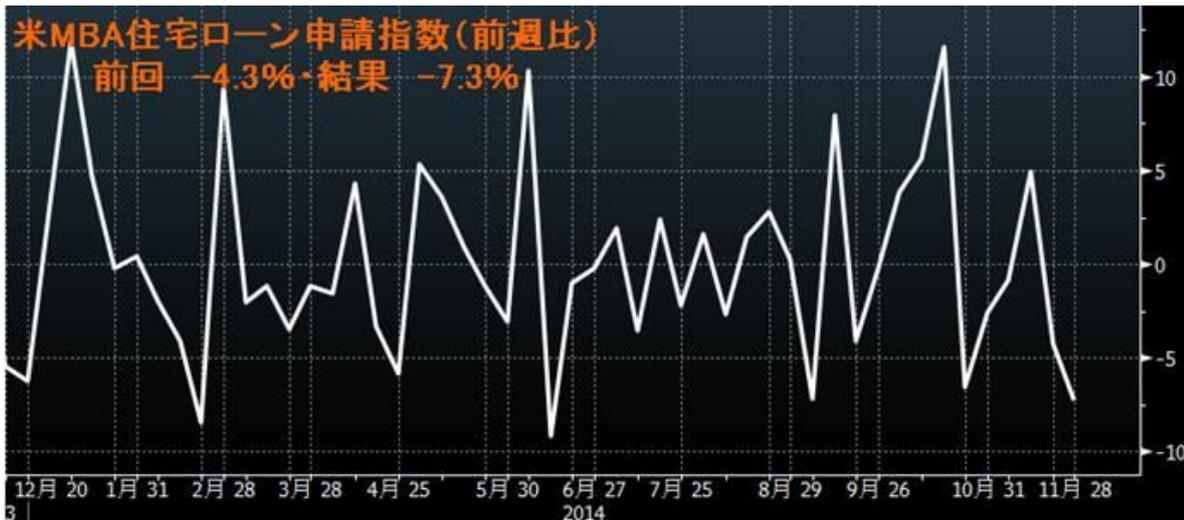
NY 市場レポート

欧州タイム

21 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

米 MBA 住宅ローン申請指数 (前週比) -7.3% (前回 -4.3%)



指標結果データ

◀MBA 住宅ローン申請指数▶

	11/28	11/21	11/14	11/7	10/31	10/24	前年同期
申請指数	-7.3	-4.3	4.9	-0.9	-2.6	-6.6	-11.5
購入	2.5	-4.8	11.7	1.1	2.6	-5.0	-4.9
借換え	-13.4	-3.5	0.9	-1.9	-5.5	-7.4	-16.3
固定金利	-7.1	-4.4	5.2	-0.6	-1.7	-5.3	-10.5
変動金利	-11.2	-3.1	1.2	-4.3	-12.3	-18.2	-23.2

(%)

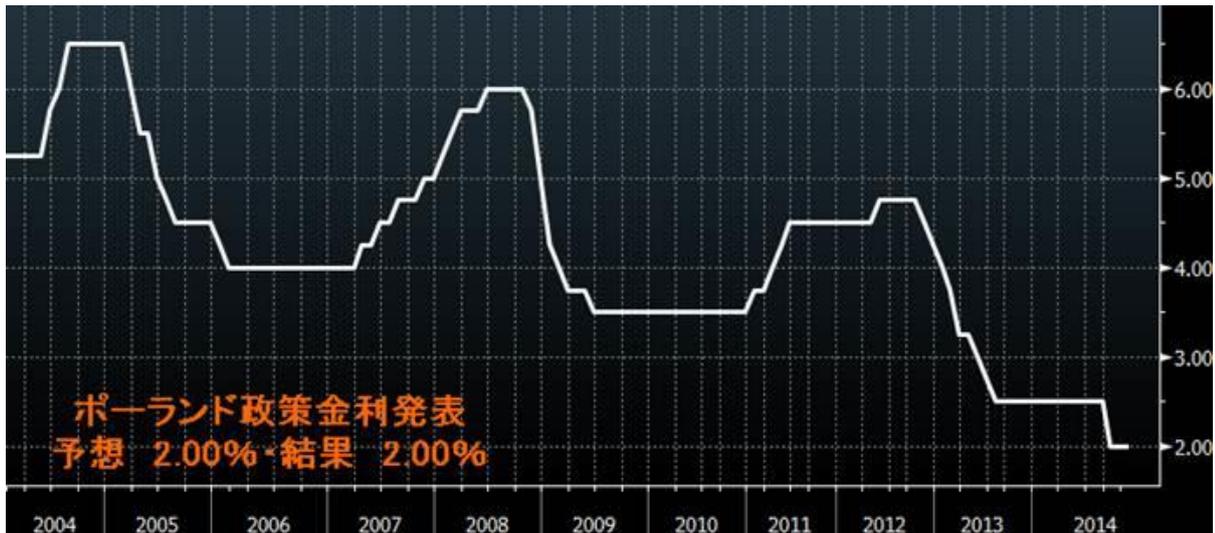
ローン契約平均金利 (%)

固定金利 30年	4.08	4.15	4.18	4.19	4.17	4.13
固定金利 15年	3.30	3.35	3.38	3.38	3.38	3.28

21 : 16

◀ 経済指標の結果 ▶

ポーランド政策金利発表 2.00% (予想 2.00%・前回 2.00%)



(出所:ブルームバーグ)

《ポイント》

ロシア・ルーブルは、序盤に安値を更新する場面もあったが、その後主要通貨に対して反発。ロシア中銀が3日の取引中にルーブル防衛のため再び市場に介入しているとの話も流れている。なお、ロシア中銀は、1日に7億ドル規模の為替介入を実施したと明らかにしている。



(出所:ブルームバーグ)

22:00

ドル/円 119.40 ユーロ/円 147.26 ユーロ/ドル 1.2333

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

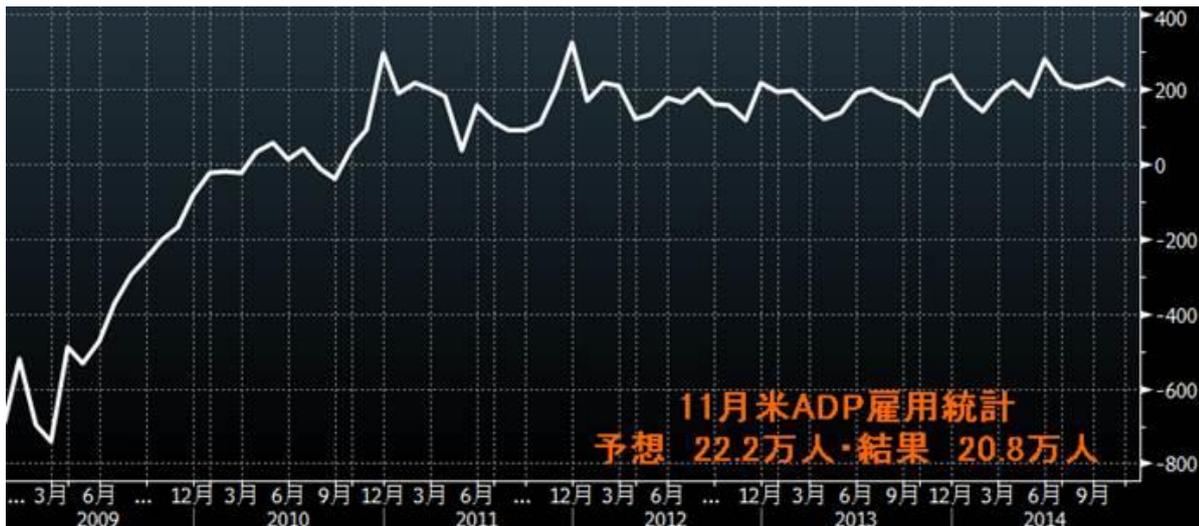
欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6724.21	-17.89	ダウ INDEX FUTURE	17868	+6
仏 CAC40	4384.13	-4.17	S&P500 FUTURE	2066.30	+0.40
独 DAX	9949.78	+15.70	NASDAQ FUTURE	4309.00	+3.50

(出所:SBILM)

22:15

◀ 経済指標の結果 ▶

11月米ADP雇用統計 20.8万人 (予想 22.2万人・前回 23.3万人)
 前回発表の23.0万人から23.3万人に修正



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

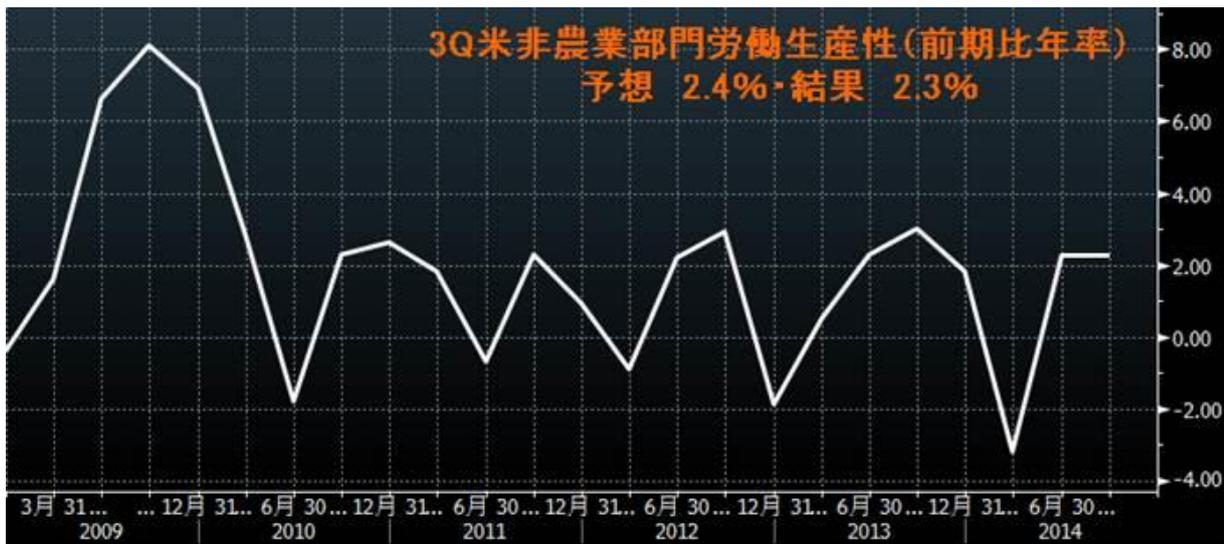
◀ ADP雇用統計 ▶

11月・10月・9月・8月・7月・6月・5月
 ADP雇用者数(前月比)・・・20.8・23.3・22.5・16.2・21.7・29.7・21.4
 (万人)

22:30

◀ 経済指標の結果 ▶

3Q米非農業部門労働生産性(前期比年率) 2.3%(予想 2.4・前回 2.0%)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

◀ 非農業部門労働生産性指数 ▶

	7-9	4-6	1-3	10-12	7-9	4-6
非農業部門労働生産性指数	2.3	2.9	-4.5	3.3	3.6	1.8
生産	4.9	5.5	-2.4	4.7	5.6	3.3
労働総投入量	2.5	2.5	2.1	1.4	1.9	1.5
時間あたり給与	1.3	-0.9	6.9	1.9	0.7	3.7
実質給与	0.2	-3.8	4.6	0.7	-1.4	3.2
単位あたり労働コスト	-1.0	-3.7	11.6	-1.3	-2.9	3.2
単位あたり非労働コスト	5.4	10.1	-11.7	5.0	8.5	-0.7
価格指数	1.8	2.0	0.8	1.4	1.9	1.5

(前期比、年率%)

◀ NY 外国為替市場 序盤 ▶

序盤の外国為替市場は、序盤に発表された米雇用関連の経済指標が市場予想を下回ったことから、円を買い戻す動きが先行した。ただ、米長期金利の上昇傾向を背景に、日米の金利差拡大を意識した円買いも見られ、底固い動きとなっている。

23 : 33

米主要株価

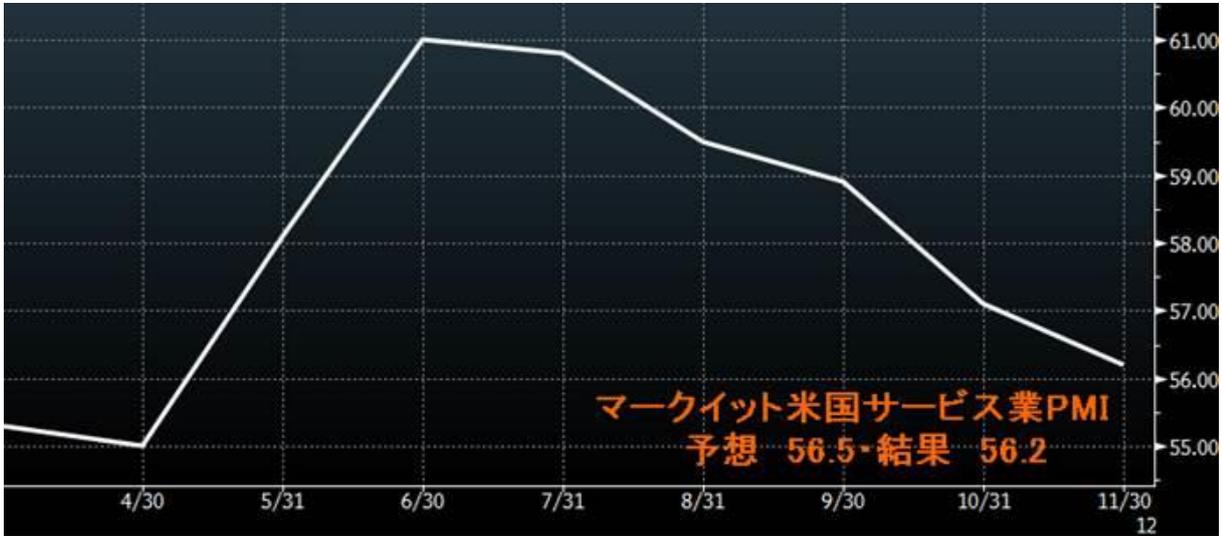
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17863.08	-16.47
ナスダック	4757.97	+2.16

(出所:SBILM)

23 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

マークイット米国サービス業 PMI 56.2 (予想 56.5・前回 56.3)

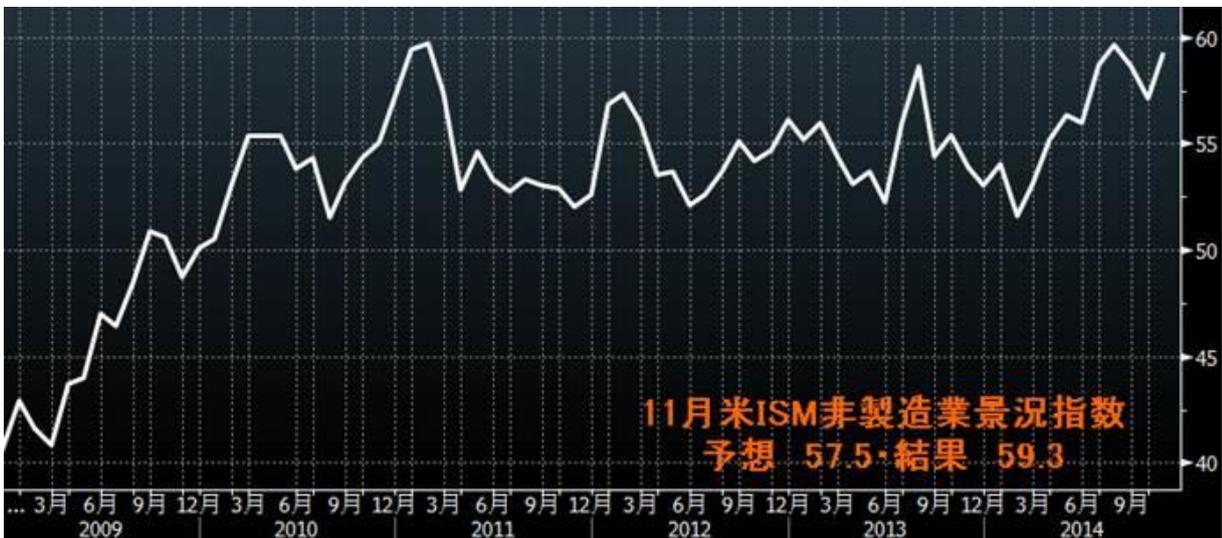


(出所:ブルームバーグ)

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

11月米ISM非製造業景況指数 59.3 (予想 57.5・前回 57.1)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

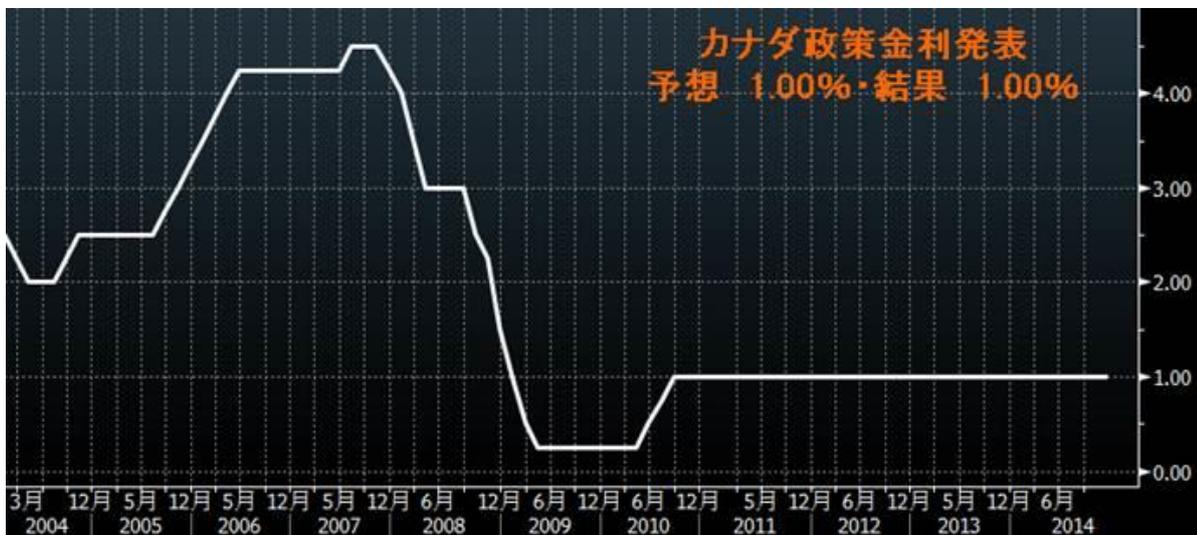
◀ ISM 非製造業景況指数 ▶

	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月
総合指数	59.3	57.1	58.6	59.6	58.7	56.0	56.3
景況指数	64.4	60.0	62.9	65.0	62.4	57.5	62.1
仕入価格	54.4	52.1	55.2	57.7	60.9	61.2	61.4
新規受注	61.4	59.1	61.0	63.8	64.9	61.2	60.5
雇用者数	56.7	59.6	58.5	57.1	56.0	54.4	52.4

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

カナダ政策金利発表 1.00% (予想 1.00%・前回 1.00%)



0 : 30

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、米雇用関連の経済指標が市場予想を下回ったことを受けて、米景気への慎重な見方が広がり、売りが先行した。ただ、その後は買い戻しも入っている。

0 : 33

◀ EIA 米週間在庫統計 ▶

原油在庫・・・369万バレル減少
ガソリン在庫・・・214万バレル増加
留出油在庫・・・303万バレル増加

◀ 経済指標のポイント ▶

(1) MBA (全米抵当貸付銀行協会) の住宅ローン申請指数は、前週比-7.3%となり、過去6週間で5回目の下げとなった。借り換え申請の減少が全体を押し下げる要因となった。

①構成指数の借り換え指数が-13.4%と、2013年11月以来の大幅な下げとなった。また、購入指数は+2.5%となった。

②30年固定金利型の住宅ローン金利は、4.08%と（前週4.15%）と2013年5月以来の低水準、15年固定金利は3.30%（前週3.35%）となった。

③申請全体に占める借り換えの割合は60%（前週62.8%）となり、7週間ぶりの低水準となった。

(2) 7-9月期の米非農業部門の労働生産性の確定値は、年率換算で前期比+2.3%となり、速報値から0.3ポイント上方修正され、2四半期連続で上昇となった。ただ、市場予想の+2.4%には届かなかった。生産の伸びが労働時間の伸びを上回ったものの、賃金の指標である単位労働コストは、前期比-1.0%と市場予想の横ばいに反しマイナスとなった。

①労働生産性の内訳は、生産が+4.9%、労働時間は+2.5%と2012年1-3月期以来の大きな伸び、労働時間は+2.1%で、2012年1-3月期以来の高水準となった。また、時間当たりの労働報酬は、名目ベースで+1.3%、物価動向を考慮した実質ベースは+0.2%。

②製造業の生産性は+2.9%、生産が+4.2%、労働時間は+1.3%となり、前年同期比では、生産性が+2.7%で、2010年10-12月期以来の高水準、生産は+4.4%と2011年1-3月期以来の伸びとなった。一方、労働時間は+1.6%となった。

(3) 11月のADP全米雇用報告によると、民間部門雇用者数は20.8万人となり、市場予想の+22.1万人を下回った。ただ、10月分は当初発表の+23万人から+23.3万人に上方修正された。また、民間部門雇用者数は57ヵ月連続で増加し、平均では月間18.6万人の伸びとなっている。建設業は+1.7万人、製造業は+1.1万人、サービス業は+17.6万人となった。従業員が500人以上の大企業の雇用者数は+4.2万人、50-499人の中堅企業は+6.5万人、49人以下の小企業は+10.1万人となった。小企業の採用が堅調なペースで推移していることから、経済が健全な状態に戻りつつある兆候との見方も出ている。

(4) コンファレンスボード（全米産業審議会）が発表した11月の新規のオンライン求人広告数は、275万1700件となり、前月の255万8800件から増加した。前年同月の248万4600件からは+10.8%となった。2014年11月275万1700件、10月255万8800件、9月255万7500件、8月271万7800件。

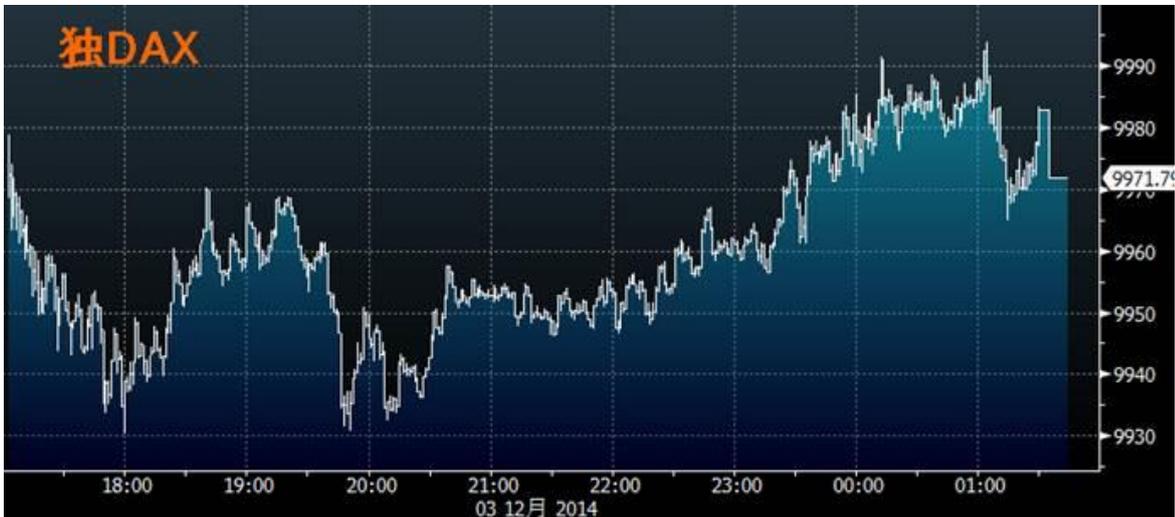
(5) 米ISM非製造業景況指数は、59.3となり、市場予想の57.5を上回り、3ヵ月ぶりの高水準となった。景気指数は64.4（前月60.0）、価格指数は54.48（前月52.1）、新規受注指数は61.4（前月59.1）と前月から上昇したものの、雇用指数は56.7（前月59.6）と前月から低下となった。また、価格指数は52.1（前月52.1）で横ばいとなった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6716.63	-25.47
仏 CAC40	4391.86	+3.56
独 DAX	9971.79	+37.71
ストック欧州 600 指数	349.34	+1.97
ユーロファースト 300 指数	1399.97	+7.46
スペイン IBEX35 指数	10875.90	+126.70
イタリア FTSE MIB 指数	19978.32	+197.74
南ア アフリカ全株指数	49857.18	+265.75

（出所：SBILM）

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。欧州中央銀行による追加緩和観測を背景に、主要株価は堅調な動きとなった。ただ、FT100 は、英国の成長見通しが従来予測から下方修正されたことなどから小幅安となった。



(出所:ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 17889.53 (+9.98)、 S&P500 2069.68 (+3.13)、 ナスダック 4766.44 (+10.63)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、11月のADP雇用統計が市場予想を下回ったことで逃避買いが入る一方、米ISM非製造業景況指数が予想以上に改善したことをきっかけに売りも出て、もみ合いの展開となった。ただ、ECB理事会や米雇用統計発表を控えて、様子見ムードも強かった。

午前の利回りは、30年債が3.01%（前日3.01%）、10年債が2.30%（2.29%）、7年債が2.01%（2.01%）、5年債が1.61%（1.59%）、3年債が0.96%（0.94%）、2年債が0.55%（0.54%）。

《 欧州のポイント 》

①フランス財務省は、財政赤字のGDPに対する比率を2015年に4.1%まで減らすとの目標を明らかにした。これまでは4.3%まで減らすと表明しており、削減幅を拡大することになる。フランスは以前、2015年にはEUが設定した3.0%を達成するとEU加盟諸国に約束していた。ところが今年10月、経済環境を考慮して削減目標の達成を2年間先送りすることを発表。2014年の4.4%から、2015年に4.3%、2016年に3.8%と段階的に減らし、2017年には2.8%とEUが設定した3.0%をクリアする計画を明らかにした。

②11月のユーロ圏購買担当者景気指数改定値は、製造業とサービス部門をあわせた総合が51.1となり1年4ヵ月ぶり低水準となった。来年初めに再びマイナス成長となる可能性を示した。また、第4・四半期は0.1%程度でほぼゼロ成長となり、需要の回復がなければ来年には再びマイナス成長となる見込みとの指摘もある。ただ、景気の拡大・縮小の判断基準の50は1年5ヵ月連続で上回っている。ドイツの総合PMIは1年5ヵ月ぶりの低水準。サービス部門は1年4ヵ月ぶり低水準。フランスの総合PMIは9ヵ月ぶりの低水準、スペインのサービス部門は1年ぶりの低水準、英国のサービス部門PMIは予想を上回った。

③ギリシャ支援プログラムが期限を迎えた際の新たな与信条件について、8日のユーロ圏財務相による協議でギリシャと国際支援団が合意に至る見通しが低いことが分かった。ユーロ圏の政府高官が明らかにした。ギリシャは、年内の国際支援プログラム脱却を目指しているが、2015年予算案の資金不足見通しをめぐり、欧州委員会、国際通貨

基金（IMF）、欧州中央銀行（ECB）の通称「トロイカ」と意見が対立している。合意に達しない場合、12月31日に到来する現行プログラムの期限を延長する必要がある。ユーロ加盟国は来年1月前半にも18億ユーロの支援で合意する可能性があるという。

④ポーランド中銀は、主要政策金利を過去最低の2.00%に据え置いた。据え置きは予想通り。中銀はこれまで、経済成長が鈍化した場合のみ金融緩和を実施するとの立場を示していた。通貨ズロチは、対ユーロで4ヵ月ぶり高値を更新していたが、中銀の決定を受け0.1%高となった。

2:40

《 要人発言 》

プロッセー・フィラデルフィア連銀総裁～講演

- ・「エネルギー安は個人消費と景気にプラス」
- ・「労働市場の改善は金融政策のシフト要する」

4:00

《米地区連銀経済報告 ページブック》

- ・「雇用増大は全地区に拡大」
- ・「全般的な物価と賃金インフレは引き続き抑制されている」
- ・「一部はわずかあるいは緩やかな労働コスト上昇を指摘」
- ・「アトランタとダラスの石油産業は価格下落を懸念」
- ・「ガソリン安は個人消費を押し上げている可能性」
- ・「大半の連銀が個人消費の改善継続を指摘」
- ・「景気は10-11月に引き続き拡大」
- ・「建設業と不動産の拡大を指摘」

4:40

NY金は、中心限月が前日比9.30ドル高の1オンス=1208.70ドルで取引を終了した。

5:15

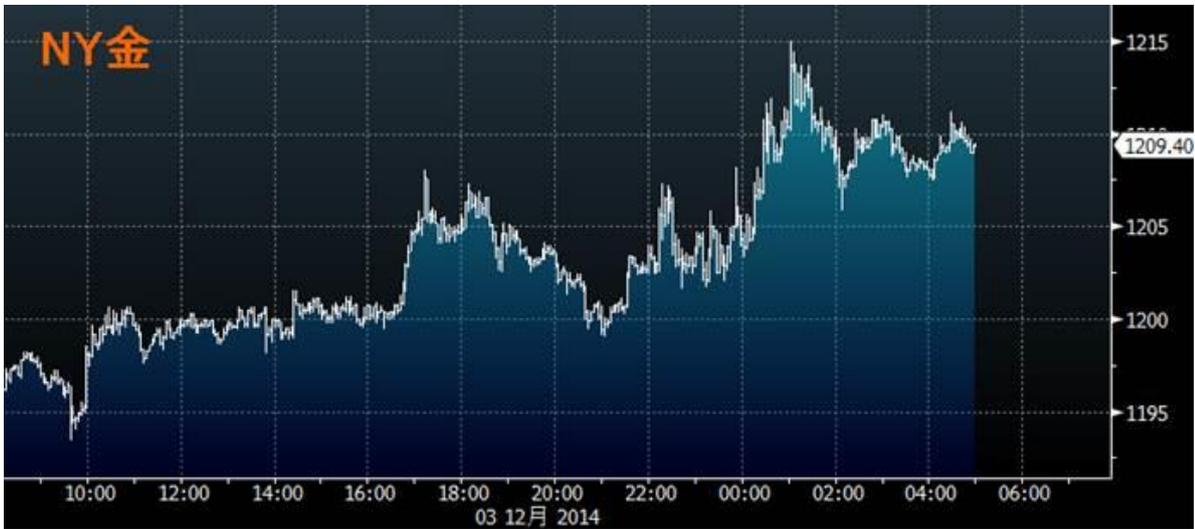
NY原油は、中心限月が前日比0.50ドル高の1バレル=67.38ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1208.70	+9.30
NY 原油	67.38	+0.50

(出所: SBILM)

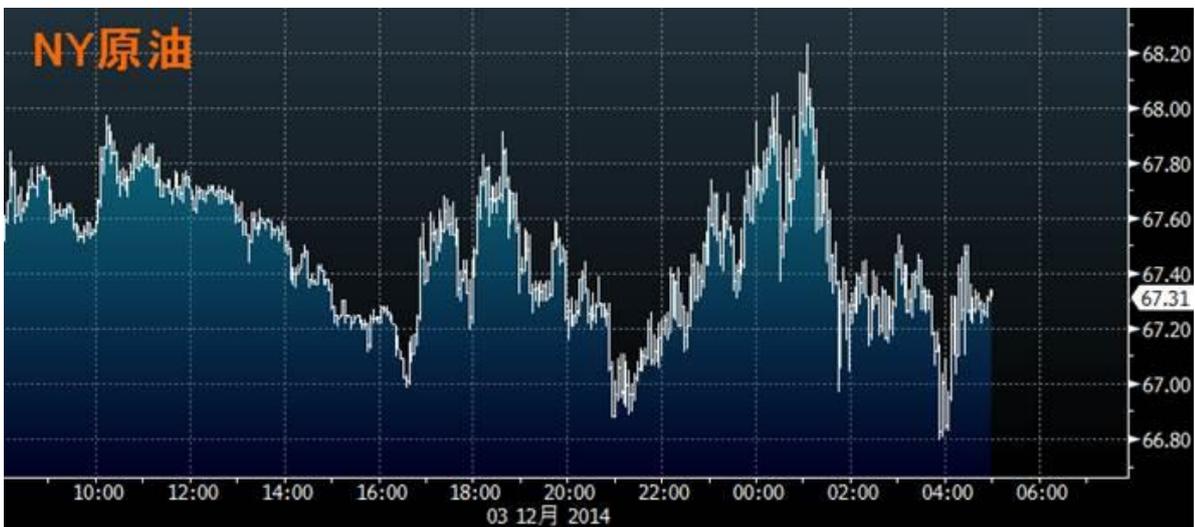
◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、原油相場の下落が一服したことで、インフレが当面抑制されるとの見方が後退し、インフレヘッジの金買いが優勢となった。また、雇用関連の米経済指標が市場予想を下回ったことで、比較的 안전한資産とされる金に逃避的な買いも入った。



◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、米石油在庫統計で原油在庫が市場予想に反して減少したことから、需給の緩みに対する懸念が和らぎ、買いが優勢となった。ただ、世界的な供給過剰による先安観は根強く、上げ幅は限定的となった。

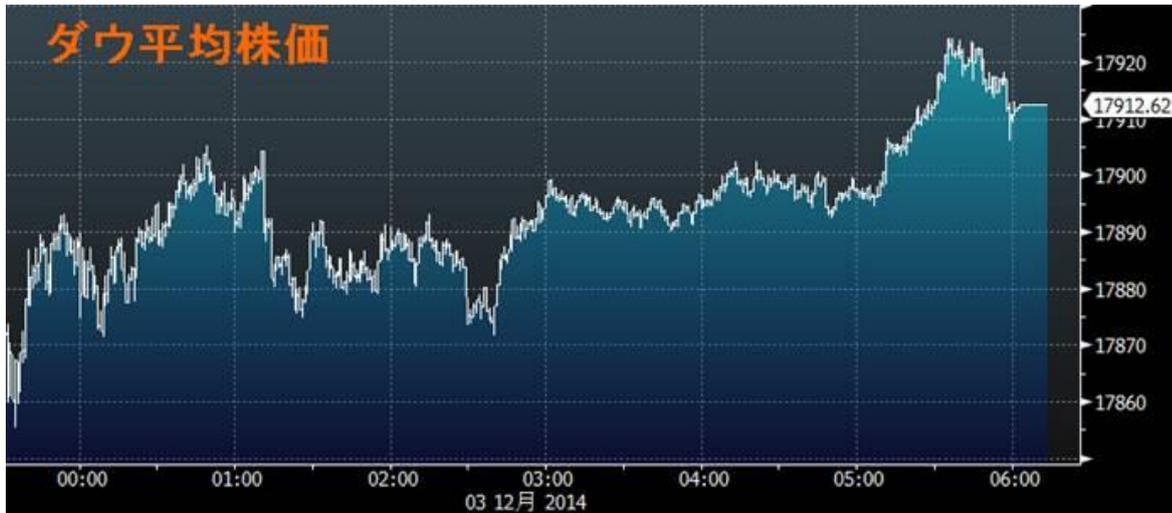


主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17912.62	+33.07	17924.15	17855.59
S&P500 種	2074.33	+7.78	2076.28	2066.65
ナスダック	4774.47	+18.66	4781.37	4745.14

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、米雇用関連の経済指標が市場予想を下回ったことを受けて、米景気への慎重な見方が広がり、売りが先行した。ただ、その後は、終盤まで堅調な動きとなったものの、米雇用統計などを控えて様子見ムードも出ておりやや値動きは限定的となった。ダウ平均株価は、序盤軟調な動きとなったものの、その後は堅調な動きとなり、終盤には一時前日比 46 ドル高まで上昇する動きとなった。そして、取引時間中、終値ベースでの最高値を更新する動きとなった。



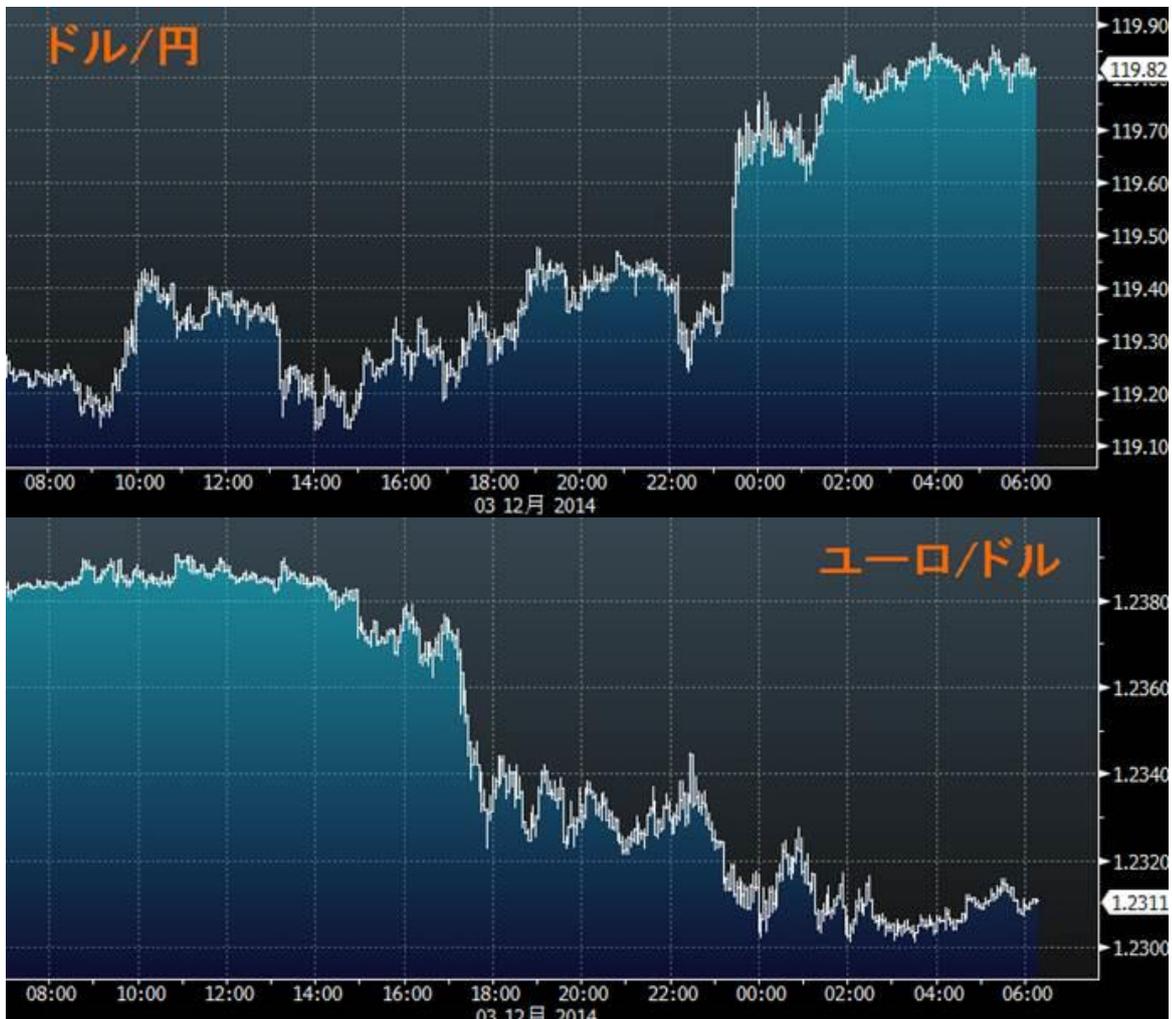
(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	119.81	119.87	119.24
EUR/JPY	147.46	147.58	147.04
GBP/JPY	187.93	188.20	187.09
AUD/JPY	100.71	100.87	100.51
NZD/JPY	92.99	93.21	92.71
EUR/USD	1.2311	1.2345	1.2301
AUD/USD	0.8406	0.8448	0.8397

(出所:SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米雇用関連の経済指標が予想を下回る結果となったことを受けて、ドル円クロス円はやや軟調な動きとなった。しかし、その後は、株価が堅調な動きとなったことなどから、堅調な動きが続いた。ただ、ECB 理事会や米雇用統計を控えて様子見ムードも出ており、やや動きは限定的となった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。